

年 組 名前：

音楽と森の美術館 運営移譲 お笑い西野さん経営会社に

お笑いコンビ「キングコング」の西野亮広さんが描いた絵本などの展示コーナー＝富士河口湖・河口湖音楽と森の美術館



富士河口湖町河口の「河口湖音楽と森の美術館」は、お笑いコンビ「キングコング」の西野亮広さんが社長を務める「CHIMNEY TOWN」（東京）に、美術館の経営権を譲渡する。美術館はCHIMNEY社と共同で施設を運営していて、今秋を最後に株式譲渡などの手続きを済ませる。段階的な経営譲渡の第一弾企画として、7月上旬に西野さんが手がけた絵本の原画などを展示する常設コーナーをオープンした。

（三枝大悟）

美術館によると、高齢化などを理由に施設の事業承継を検討していたコーナーは2025年11月、美術館運営の構想を持っていた西野さんと知り合い、26年4月から移譲の手続きを進めている。展示内容やイベントの開催について協議してきた。事業承継に合わせて、西野さんは会社の拠点を美術館の敷地内に移転するという。

常設コーナーは、西野さんが展示内容をプロデュースした。西野さんが描いた絵本「えんとつ町のプペル」などの原画約150枚や制作に使ったボールペン、西野さんが製作を指揮した短編映画

に使った街並みの模型が並ぶ。映画祭など特別なイベントで上映される、人工知能（AI）で製作した短編も上映している。展示コーナーの開設に合わせて、グッズショップ「モフの家」を設けた。B2サイズのオリジナルデザインポスター（2種類、1100円）、オリジナルソックス（4種類、2000円）などを取り扱う。美術館のカフェコーナーでは、新たに東京・渋谷で西野さんが手がけるカフェと同じコーヒ

の提供も始めた。美術館では、西野さん企画のヒアリングや音楽イベント、YouTubeチャンネルの公開収録などを予定。イベントには西野さんも参加する。美術館担当者は「常設展示の内容は時期ごとに変わるほか、最新の活動内容も紹介する。全国から集客が期待できる」と話している。

（2026 年 7 月 24 日付 山梨日日新聞 7 面）

問1 富士河口湖町の美術館が、経営権を譲渡する相手を教えてください。

.....

問2 美術館の常設コーナーには、なにが展示してありますか。

.....

.....

問3 今後、美術館では、どのようなイベントを行う予定ですか。

.....